

“宇宙を視座に大人が変わる 子どもが輝く 美しい星が生まれる”【子どもと宇宙と未来をつなぐ】



活動レポート

令和四年六月十五日 通常総会 開催

今年度も新型コロナウイルス感染症対策のため、事前に送付した資料を確認して頂き、はがき返送による書面表決およびオンライン開催で、昨年度の事業報告・決算報告、今年度の事業計画、予算案の審議が行われました。

議決権を有する会員は百五十四名、出席者十五名、書面表決七十六名、総会は成立し審議に入りました。

活動報告では、「宇宙の学校」事業は、宇宙教育センターと協議の上、感染状況の確認を行つて、新型コロナ感染対策を取りながらの対面開催が再開されたことやオンラインへの切替や支援を行つたこと、その他イベントや講演等実施した活動について報告がありました。

決算報告では、令和二年度にあつた給付金は今年度なかつたものの少しずつイベントなどが再開し、全体の収益総額が増加したこと、しかしながら、まだコロナ禍の活動で自由に活動が出来ていなすことの表れた決算となつたと報告が行われました。その後、令和四年度の事業計画、予算案の審議が行われ全ての承認を得ました。審議終了後、会員の方からご意見や質問など活発な意見交換が行われました。

総会での「J意見・J質問

「いのち」の大切さを伝えていくということがKUMAの活動理念や大事なことはわかるが、具体的にはどのようなことを考えているのか？

回答：稻葉 副会長

先日、的川名誉会長と話す機会があり、今年は「いのち」の大切さを強く訴える年だと感じている。宇宙教育は「宇宙教育＝宇宙」のような宇宙を教える教育を行うのではなくて、大事なことは宇宙で教えること、宇宙の視座で「いのち」の大切さを子どもたちや保護者に機会がある毎に伝えていくことを大事にしていこうと話をしました。

この広い宇宙の中で奇跡的に育まれている大切な「いのち」を粗末に扱う人や奪うような行為をするリーダーがいることが良くない事や科学技術の知恵や知識は人類全体の平和や一人一人の幸せのために使っていくんだということを小さな頃から子どもたちに気づいてもらえるよう力を入れて行きたい。

全国の方々と情報交換や協力し合いながら活動していきたいと思っています。

名誉会長の的川泰宣先生が、令和4年度「空の日」日本航空協会表彰「航空功績賞」に選ばれ9月20日に表彰式が行われました。おめでとうございます！